

会議録【概要】

日時：令和6年2月28日（水） 15：30～17：00 会場：岩手県立宮古北高等学校 大会議室

会議名：令和5年度岩手県立宮古北高等学校 第2回学校運営協議会

進行：鈴木明宏（宮古北高等学校／副校長） 記録：舘洞真奈実

出席者：【学校運営協議会委員】高橋敦氏（宮古市立田老第一中学校校長）、早川輝氏（NPO 法人みやっこベース理事長）、藤田恵氏（田老福祉センターセンター長）、加藤洋一郎氏（加藤昇一商店店主）、前田宏紀氏（JF たろう参事）、田中和七氏（田老地区復興まちづくり協議会会長）、佐藤禎信（宮古北高校校長）、鈴木明宏（宮古北高校副校長）、浜田孝高（宮古北高校事務長）

※【オブザーバー】藤倉琢哉、昆野健一、村上和隆、柴田俊浩、吉田実（宮古北高等学校）

【次第及び主な発言】

1 開会

2 学校長挨拶

3 学校概況説明

4 協議・情報交換

I 学校評価について

① 学校評価表

・特に高い評価のア（社会で求められる資質・能力を育む授業の充実）、ウ（豊かな人間性を育む教育の推進）についてどのような取組をしているか。

→アでは、日本史カルタ等、遊び心を交えた教科指導で生徒の心を惹きつけているのではないかと。

→生徒には、どんどん地域に出て育ててもらいなさいという話をしている。また、生徒会担当が活発に活動を実施している。

→1つの取組から成果があがったものではなく、多くの取組による成果である。

② 令和5年度学校評価アンケート集計結果

・アンケート結果では肯定的な回答が多いが、N025の質問（自分は学校生活に充実感を感じている。）を見ると、学校生活に充実感を感じている生徒が少ないのはなぜか。

→生徒にとって思い通りにならないことも多いようだ。

→自己肯定感の調査では前期に60%程度、後期に70%程度という結果が出ており、自分を責める傾向が強い生徒が多いように思う。少人数によるデメリットもあるのではないかと。

・質問N024（教職員は、一人一人の生徒の自主性や個性を大切に、伸ばそうと努力している。）を生徒にも回答させてはいかがか。

◎ 学校評価について全体を通して

・生徒の雰囲気は学年にばらつきがあるように思う。活動に消極的な生徒は、楽しくない等否定的な意見が多かった。生徒がやりたいという気持ちを後押ししてほしい。

・こんな生徒がこんな成長を見せたという事例を紹介してほしい。

→ボランティア活動に参加する生徒は特に生き生きとしている。生徒会執行部のみならず、サポーターや実行委員会等、積極的な取組をしやすい工夫をしておき、多くの生徒が挑戦し頑張っている。

・先生が学年の枠を超えて生徒に向き合える体制が良いと思う。これで成果を挙げた事例はあるか。

→1つの事例による成果ではない。リスタートした生徒が少しずつ成長している。

II 魅力化について

① 令和5年度県受託事業

ア いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業探究共創事業

イ いわての復興教育推進スクール（沿岸）事業

ウ 県立学校復興担い手育成（就職等支援）事業

エ 三事業のまとめ

② 本校独自の取り組み

ア ボランティアや地域活動の奨励

- ・前回協議会（7月）以降のものの報告
- ・3月下旬予定のボランティア「津波防災シェア期間アンケート調査」は、市から委託されており、個人宅に出向き、アンケートをお願いするものである。

イ 宮北の森

◎魅力化について全体を通して

- ・生徒に自信を持たせ、課題解決能力を高める教育をお願いしたい。また、人のせいにしない生き方ができるように育てほしい。
- ・「地域の課題解決方法について考えることが概ねできた」39.6%とあるが、具体的に生徒たちは、どんな振り返りをしているのか。

→宮北ファーム等では時間が足りず、十分な振り返りが実施できなかった。県受託事業の実施について整備してスリム化を図っていききたい。

→1～3年次に連動したカリキュラムを組むと良いのではないかと。また、上級生などの良いプレゼンを手本として見せると良いのではないかと。

→コミュニケーション能力が課題である。話すこと、聞くことに慣れるよう丁寧に指導してほしい。

★ 協議・情報交換 全体を通して

- ・3学年進路決定者について、9月の統一選考日を受験した生徒については全員内定している。
- ・学校評価アンケートでは「いじめや暴力のない学校づくりに努めている」と答えた生徒の割合が高かったものの、今年度のいじめ認知件数は0ではない。「いじめがないから良い」ではなく、その対応について評価されているものである。

5 質疑応答・学校運営協議会委員助言

- ・宮北の情報を是非PRしたい。
 - ・多忙なところですが、是非一緒に企画したい。
 - ・県立学校の統合について、現状を踏まえると本校は募集停止になるのか
- 特例校がどうなるかによっても変わる。
- ・本校は地域に必要な学校である。特色のある学科も良いのではないだろうか。
 - ・漁業組合への就職も是非検討してほしい。
 - ・岩手の復興教育推進スクール（沿岸）事業で「防災士」の資格取得も検討してほしい。

→個人資格に県費の支出はできない。

- ・植樹活動のボランティアをご案内します。
- ・第3の居場所として、地域を活用してほしい。ただ、おしゃべりをするだけでも良い。挨拶を心がけましょう。
- ・本校は地域から必要とされる学校である。生徒が自己PRできるようになると良いと思う。
- ・ドローンの免許取得を検討してみたいか。

6 その他

7 閉会